

# 01 ヒストリックカー・ミーティング in 伊勢志摩

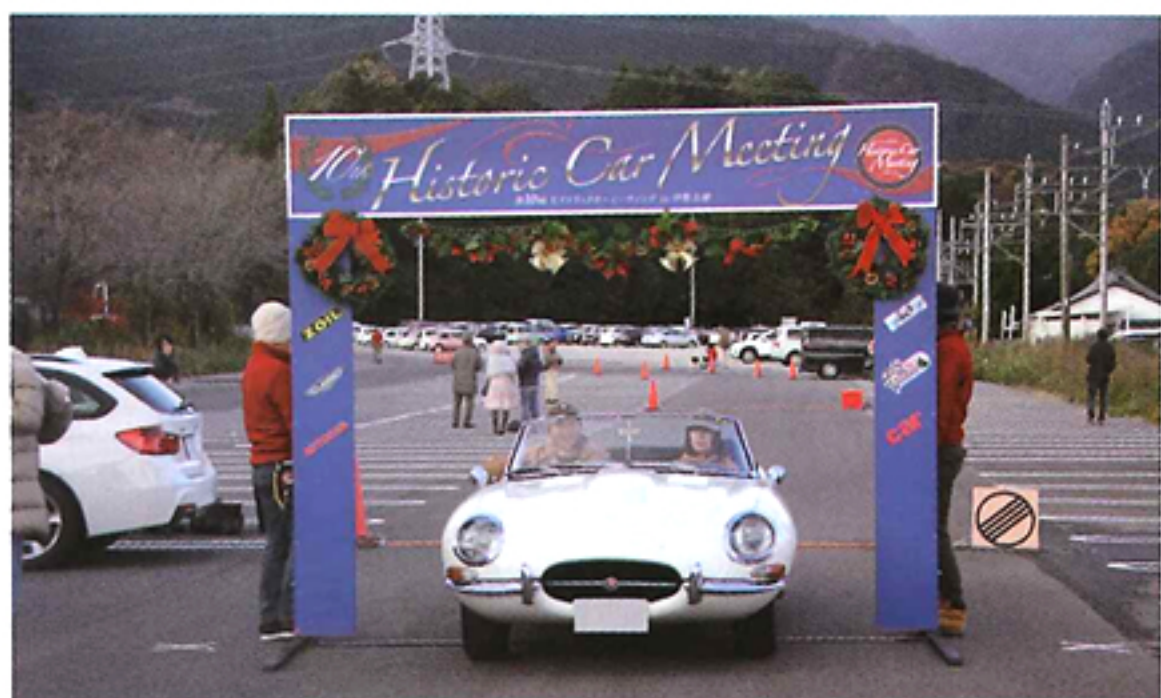
▶2014.12.6-7▶伊勢志摩/三重

## もてなしの心を忘れないラリー

text & photo: Kazuhide Ueno(上野和秀)



伊勢志摩スカイラインのPCにアタック中のBMWイセッタ600。連続する上り坂は厳しいようで背後にボルシェ904カレラGTSが迫る。



今回はアクアイグニスのスタート前に、なんと3連続のPCが設けられ、エントラント達は足慣らしを寝てアタックしていた。



伊勢志摩スカイラインを封鎖してシークレット連続PCが行われた。セッケン順にアタックするもので、スタートを待つ競技車たち。



いつもはスペシャルステージが行われる会場に待っていたのは、なんとヘリコプターだった。空から伊勢志摩の観光を楽しんだ。



今回は恒例のサンバに代わり、志摩市の伊勢えび祭りの際に行われる「じゃこっぺ踊り」を全員で踊り盛り上がった。



伊勢志摩スカイラインのPCにアタック中のボルシェ356コンバーチブルD。距離がシークレットで2連の指示速度となるだけに難易度は高い。



2日目のランチ会場となったタラサ志摩では、エントランスに参加車を放射状に整列させてショーアップ。参加者もカメラを向けていた。



今回のゴールは津カントリークラブに設けられ、天使の歌声が特徴のアースの両名が振るチェッカーフラッグに出迎えられた。



オーバーオール・ウイナーは、クラスB優勝、伊勢志摩スカイラインPCトップのSS100(ジャガー)を駆る吉田組が獲得した。

ヒストリックカー・ラリーは全国でいろいろと開催されているが、その中で競技性のレベル高さに加え、エントラントをトータルに楽しませてくれるのがヒストリックカー・ミーティングだ。五感を刺激する極上の『車旅』をコンセプトに2010年7月にラグーナ蒲郡ステージからスタートし、常にもてなしの心遣いを忘れないことから回を追うごとに人気を集め、地元の東海地方はもとより、首都圏や関西、中国、九州からの参加を集めるほどの全国規模イベントに成長した。

今回は記念すべき第10回大会だけに、様々なスペシャル・アトラクションを盛り込んで、12月6-7日に伊勢・志摩を舞台に行われた。ラリー1日目は、湯の山温泉にあるアクアイグニスをスタート後、道の駅紀伊長島まんぼう、賢浦漁港、志摩地中海村でPCをこなし、ホテル近鉄アクアヴィッラ伊勢志摩がゴールというもの。賢浦漁港では伊勢・志摩の新鮮な海の幸のランチを楽しみ、志摩地中海村ではレストタイムとされ、ひと休みしたのち参加者全員で記念撮影。そして10周年記念のサプライズがゴール直前に用意されていた。例年なら4連続PCが行われる会場にはヘリコプターの姿が! 第10回を記念して伊勢・志摩空の旅が用意され、参加者は空からの絶景を楽しんだ。

夜は恒例のクリスマス・パーティが盛大に行われた。ホール前では志摩市伝統の恵利原早餅つき保存会による実演が行われ、つきたての餅がふるまわれた。続いて南伊勢町の伝統芸である南勢牛鬼太鼓が実演され、その迫力に参加者は圧倒されていた。

ステージでは主催者の天野氏の挨拶の後、開催に協力していただいた志摩市長、南伊勢町長らに記念のメダルが事務局からプレゼントされた。一方ステージではジャズバンドによるオープニングを皮切りに、津軽三味線の演奏や、志摩市浜島町のじゃこっぺ踊りが行われ、参加者全員で盛り上がった。

2日目はホテル近鉄アクアヴィッラ伊勢志摩をスタート後に恒例の4連続PCをこなしたのち、御座白浜の海女小屋 磯人に設けられたスタンプポイントへ。ここにも第10回記念サプライズが! 真珠特別体験としてアコヤ貝から真珠を取り出す貴重な体験をし、その真珠を好みのペンダントトップに自身で取り付け、それがプレゼントされるというナイスな企画が用意され、参加者の皆さんは真剣に工作していた。

続いて可見アリーナでPC競技をこなしたのち、タラサ志摩でフルコースの美味しいランチを楽しんだ。食後はこのラリーのハイライトといえる伊勢志摩スカイラインを閉鎖して行われるシークレット連続PCだ。平均速度だけが指示され、セクションの距離数はシークレットとされているだけに難易度の最も高いセクションである。しかしトップタイムを記録したチームは、コンマ数秒の誤差でクリアしているから驚きだ。

その後は、ゴールの津カントリークラブまで移動。ここで表彰式が行われ、総合優勝はクラス、ベストタイムを圧倒した吉田氏が獲得。このほか特別賞やジャンケン大会で盛り上がり、「手ぶらでは帰しません」のポリシーは健在で、クルマ趣味を支えてくれるパートナーへの細やかな心遣いも健在だった。

今回10回目を迎えたヒストリックカー・ミーティングだが、来年はワンデイの名古屋クラシック・ツアーと2日間のヒストリックカー・ミーティングに加え、より競技性を高めた3日間のジャパン・クラシック・ツアーが開催されることが発表された。開催日は未定だが、ヒストリックカー・ラリー・ファンにとっては嬉しいニュースとなる。🍀